

# うらおそい歴史新聞

第56号

## 尚寧王没四〇〇年企画

### 歴史講演会「琉球の王権祭祀」

浦添ようどれと・久高島・斎場御嶽

の開催性について開催します！

七月十二日（日）午後一時より、浦添

市中央公民館三階大ホールで、安里進氏

（沖縄県立芸術大学名誉教授）による歴史

講演会『琉球の王権祭祀』浦添ようどれと

・久高島・斎場御嶽について開催します。

（主催）NPO法人うらおそい歴史ガイド

友の会）浦添ようどれと・久高島・斎場御嶽

・沖ノ島との関係性、またどんな役割があ

るのか興味深いところです。

●日程 令和二年七月一二日（日）

●時間 午後一時から二時四五分終了

●対象 市民 七〇名

入場は無料ですので、この機会に足を

お運びください。また、現地をお訪ねの

際には、ぜひ浦添グスク・ようどれ館、

南エントランスにもお立ち寄り下さい。

### ※来場時の注意

・昨今の新型コロナウイルス感染防止の

為、マスク着用をお願いします。

・体温は測ってききましたか。

・入場時の際は、アルコールにて手の消

毒を行って下さい。

・風邪症状のある方はご遠慮願います。  
・当日の資料は、各自、一部ずつお取り下さい。



沖縄県立芸術大学所蔵 鎌倉芳太郎資料より

### カラウカー名称考

カラウカーと呼ばれている井泉が浦添市、今帰仁村、南城市にある。

なぜ、こうも一風かわった名称なのか、考察してみることにする。

一つ目の、浦添城跡内のカラウカーは現在、

涸れ果てた状態であり、見るからに殺風景で

なんだか物足りなさ、寂しさを感じてしま

う。一度見たら、その後は存在すらも忘れて

しまう程である。（浦添市史に漢字で空御井

泉とある）

このカラウカーは、水が涸れたからカラウカーという説があるが、湧水があった時は別の名称だったことになるのではないだろうか『琉球国由来記』にカラウカーの記載がある。カラウカーの意味が涸れ井泉であれば、十八世紀頃にはすでに涸れていたことになるだろう。しかし、戦前、酒造にこのカラウカーの水を使用したとの言い伝えもあり、ごく最近まで湧水があったことになる。仲間集落の年中祭祀の旧五月稲穂祭り・旧六月稲大祭の拝所にもなっている。

二つ目の、今帰仁城跡内にカラウカーは、現在もわずかに湧水があり、今帰仁ウマリーの拝所になっている。

そして、南城市玉城にも三つ目のカラウカー（カラウカーと同じだと考えられる）がある。昔、このカラウカーの前に鶴が口ばしに稲穂をくわえて死んでいた、この稲を受水走水の神田（三穂田）に植えたのが稲作の始まりという稲作発祥伝説がある。

この三か所のカラウカーは偶然同じ名称になったとは思えないのであるが、何か深い意味が込められているように感じる。カラウカーの近くに（城の周辺も含む）、城跡の発祥にまつわる稲田があったのではないだろうか。稲作に関する井泉と考えられないだろうか。ただ、鶴が浦添グスクと今帰仁城に飛来してこなかったことが大変残念である。私には、深く掘り下げて研究する能力が無

昔の人々は、稲の産地（唐の国）にちなんで、カラウカーと呼んだのではないかと想像する。この場合の、唐の国は、中国・朝鮮・南蛮などの外国を指すのではないかと。よって、カラウカーは漢字にすると唐御井泉と表示するのではないかとと思われるが、新聞を読まれた方々へ、一笑せず、是非ご意見を追記・浦添城跡内あるカラウカーにもぜひ一度訪れてみては如何でしょうか。（玉那覇）



当、友の会は、浦添グスクや浦添ようどれを巡回しています。簡単な説明や道案内等も行いますので、ガイドの名札をご認のうえお気軽にお声かけください。

### ○浦添グスク・ようどれ館

国指定史跡「浦添城跡」のガイダンス施設です。浦添グスクと浦添ようどれの発掘調査での出土品や戦前の写真パネルなどを展示しています。

【開館時間】午前9時～午後5時

【入館料】

大人（高校生以上） 1000円

小人（小中学生） 500円

※市内小・中学生は無料

【休館日】

月曜日（祝日は開館）・年末年始

【住所】〒901・2103

沖縄県浦添市仲間2・53・1

【電話】098・874・9345

【アクセス】

琉球バス交通 牧港線（55番）

仲間バス停から徒歩5分



【浦添グスク・ようどれ館】

浦添ようどれ墓室（西室）の原寸大の模型がみどころ。館内は、NPO法人うらおそい歴史ガイドが展示の解説も担当します。駐車場も完備しています（大型バスも対応可）。

### ○浦添大公園南エントランス展示コーナー

浦添グスクの南側入口にある県営公園の施設です。浦添グスクの模型のほか、グスクを紹介するパネルや出土品のレプリカを展示しています。入場無料です。お気軽にお訪ね下さい。

【開館時間】午前9時～午後5時

【入館料】無料

【休館日】

月曜日（祝日は開館）・年末年始

【住所】〒901・2103

沖縄県浦添市仲間2・53

【電話】098・876・3555

【アクセス】

琉球バス交通 56系統

浦添小学校前バス停から徒歩5分



【浦添大公園南エントランス展示コーナー】

施設の中には「うらおそい歴史ガイド」が解説員としていますので、解説をご希望の方は気軽に声をかけてください。駐車場も完備しています（バス対応可）。

### ○浦添市歴史にふれる館

浦添の遺跡の出土品や民具を収蔵・展示している施設です。展示室では、縄文時代の土器から、戦前まで実際に使われていた道具などを展示しており、浦添の歴史を学習することができます。

【開館時間】午前9時30分～午後5時

（入館は16時30分まで）

【入館料】無料

【休館日】土日・祝祭日（慰霊の日）

年末年始

【住所】〒901・2134

沖縄県浦添市港川512・11

【電話】098・876・1234

内線（6216・6217）

文化課文化財係まで

【アクセス】

琉球バス交通 20系統他

第一牧港バス停から徒歩15分



【浦添市歴史にふれる館（やかた）】

平成28年2月にオープンした文化財の収蔵展示施設。収蔵室の一部も公開しています。駐車場も完備しています。



浦添市歴史にふれる館の地図



※仲間バス停から徒歩5分

浦添グスク・ようどれ館と浦添大公園南エントランス展示コーナーの地図

### ○うらおそい歴史ガイド ツアー随時受付中です！

浦添グスクをはじめとした、市内の史跡や歴史スポットを有料でガイドします。

料金ガイド1名当り（20名まで対応可）  
1時間 1,500円 / 2時間 3,000円

団体でのご利用や、コースや時間などは相談に応じます。お気軽にご相談下さい。

申込先 浦添グスク・ようどれ館  
電話 098・874・9345